

2008,10,9
西日本新聞

長崎3区

日本JC九州地区ブロック協

大村市で公開討論会

15日 立候補予定の2氏参加

政治決戦

ドキュメント長崎

補を予定している自民党現職の谷川弥一氏と民主党現職の山田正彦氏（九州比例）による公開討論会を十五日午後七時から、大村市東三城町の大村商工会議所で開く。

県選出の国会議員によ

日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会（北村貴寿会長）は、次期衆院選長崎3区に立候補の討論を通して、多くの有権者に政治を身近に感じ、判断材料にしてもらうのが狙い。県内各地か

らの交通の利便性が高い大村市での開催を企画し、自民、民主各県連に打診した結果、両氏が出席することになった。二

人の公開討論会は前回選挙があった二〇〇五年以来、二回目。論点は①農林水産業②年金問題を中心とした社会保障③県内における離党政策―で、それぞれについて両氏が見解を述べる。

コーディネーターを務める北村会長は八日、記者会見し「互いが主張する政策の根拠に耳を傾けたい。特に若い世代に來場してほしい」と述べた。定員は四百人で入場無料。申し込み不要。問い合わせは事務局（佐世保青年会議所内）＝0956（22）2483。

谷川、山田両氏

15日大村で公開討論

政権選択の判断材料に

始動衆院選

日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会（北村貴寿会長）は十五日午後七時、大村市東三城町の大村商工会議所で「政権、そんなに公開討論会を開く。自民党の谷川弥一議員（長

崎3区）と民主党の山田正彦議員（比例九州）が激論を交わす。入場無料。

解散総選挙が近づく中、政策論争を実施して有権者の判断材料にしてもらう。▽日本の農林水産業▽日本の社会保障（年金）▽本県の離島政策—の三つの論点別に政策を発表。引き続き、質疑がある。

北村会長は「本県選出の国会議員で人選を進めたため、自民党と民主党になった。耳当たりの良い政策だけではいけないと思う。国に行く末は有権者が決める。主体的に政権を選択してほしい」と参加を呼び掛けている。定員は四百人。問い合わせは佐世保青年会議所（電0956・22・2483）。ホームページアドレス<http://www08.jaycee.or.jp/2008/kyushu/nagasaki/>

早くも白熱 政策論争

谷川、山田両氏が
公開討論会で火花

大村

【大村】次期衆院選の立候補予定者を対象にした「政権『せんたく』公開討論会」が十五日夜、大村市東三城町の太田商工会議所であり、長崎3区で出馬を予定している自民現職の谷川弥一氏（六〇）と、民主現職の山田正彦氏（六六）が比例九州Ⅱが政策論争を交わし



政策論争を交わした谷川氏（左）と山田氏

Ⅱ大村市、太田商工会議所

た。

日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会（北村貴寿会長）主催。解散総選挙が迫る中、立候補予定者に政策論争してもらい、有権者に判断材料を提供するのが目的。今のところ、長崎3区は両氏以外に出馬の動きがなく、一騎打ちとなる可能性が高い。

討論会では▽農林水産業▽社会保障（年金）▽離島政策―の三項目について、交代で各十分ずつ演説。

農林水産業では、谷川氏が「農業は魅力ある産業でなくなりつつある。何らかの（所得）補償をする以外にない。産業ではなく『福祉』として維持する必要がある」と指摘。山田氏は「世界的な食料危機が起こる可能性がある。食料自給率を高めるため、民主党は一兆円の農業所得補償を考えている」と述べた。

離島政策に関しては、谷

川氏は「若者にとって一次産業が魅力ある職場にならない限り、離島が疲弊する流れは止められない。『癒やしの観光』に取り組み、人口減少を食い止めなければならぬ」、山田氏は「フランスでは離島政策として減税措置を取っている。党内でまだ理解を得られていないが、離島での消費税の減免を実現させたい」などと訴えた。

討論を終え、握手する谷川弥一氏(左)と
山田正彦氏



九州地区 長崎ブロック協議会 主催
公開討論会
討論会は、次期衆院選
の投票の判断材料にし
てもらおうと、日本青年
会議所九州長崎ブロック
協議会が主催。約四百人

政治決戦

ドキュメント長崎

が集まった。
冒頭、山田氏は民主党
が提唱する子ども手当支
給や高速道無料化に言
及。「実現することで地
方の消費が活性化し景気
も回復する」と主張した。

また、谷川氏は年金を
含めた社会保障に関して
も「十年後、百年後も日
本の社会は続く。つらい
が、一定の金額の中でや
っていくしかなく、ばら
まいて無責任なことでは
きない」と述べ、再度民
主党の政策を批判した。

これに対し、山田氏は
「谷川さんは『日本は『糖
尿病』で大変で、金はな
い』と言うが、与党と官
僚は国家予算よりはるかに大規模な特別会計を勝
手に割り振っている。官
僚支配をたたき切るのが
われわれの課題だ」と応
じた。

衆院3区

宿敵、真つ向批判

「ばらまき」

「官僚支配」

自民・谷川氏
民主・山田氏
大村市で公開討論

次期衆院選長崎3区に立候補を予定している自民党現職の谷川弥一氏と民主党現職の山田正彦氏(比例九州)の公開討論会が十五日夜、大村市内であった。過去二回の衆院選でしのぎを削った両氏は、互いの党の政策を「ばらまき」「官僚支配」と真つ向から批判。早くも熱い「前哨戦」を繰り広げた。

これを受け、谷川氏は
民主党の政策を「糖尿病
の患者にまんじゅうを食
えというようなもの」と
批判。「ばらまきでは駄
目。集中的に対策を取る
のが救済だ」と訴えた。

また、谷川氏は年金を
含めた社会保障に関して
も「十年後、百年後も日
本の社会は続く。つらい
が、一定の金額の中でや
っていくしかなく、ばら
まいて無責任なことでは
きない」と述べ、再度民
主党の政策を批判した。

長崎

長崎支局 〒850-0874
長崎市魚の町3-11
電話095・824・0700 FAX824・0644
nagasaki
@mbx.mainichi.co.jp

島原支局 諫早0957・22・2590
0957・62・2532 福江0959・72・3940

2氏の白熱した議論が展開された討論会



衆院選へ持論熱く

長崎3区 2氏公開討論

日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会(北村貴寿会長)は15日夜、大村市内で、次期衆院選に長崎3区から出馬予定の自民現職・谷川弥一氏(67)と民主現職・山田正彦氏(66)を招いた公開討論会を開催した。過去2回(03、05年)にわたって3区でしのぎを削った2氏の舌戦が約400人の市民の前で展開された。

以降、大企業優遇の政治が続いており、経済的弱者救済の政治を目指す。子供手当や低額給与に苦しむ介護現場の給与体系を見直す」と主張。

谷川氏は「日本は収入不足の状態だ。果たして(民主党のばらまきの)財源はどこから来るのか? 政権与党は孫の世代のために未来を見据えている」と民主党政策を批判した。

「国事総論」「農林水産業」「社会保障」「離島政策」をテーマに2氏は持論を展開した。

まだ衆院解散もされていないが、総選挙に向けた熱気が会場を包んでいた。

山田氏は「小泉改革

【柳瀬成一郎】